

# の整備を進めよう

想的なモデル都市として浮かび上 に向け、模索を続けてきたが、 四月、松川に遊覧船がオー の市民の声に応えて、一九八八年 アントニオ市だった。 、「富山市内に観光名所を!」と ってきたのが、 本誌で街づくり座談会を行う 以来、魅力ある「水の都」創造 アメリカのサ プンし

るという手だてが必要」と貴重な 行われているとか、 があるとか、何か商業的な活動が 氏から、「川には人が楽しめる活動 公園管理者のリチャード・ハード 一九九七年、 その魅力の秘密を探るため、 バイスをいただいた。 い、現地を取材のため訪問。 中村は県の河川技師 人がそこに来

として整備すればよいのか 具体的にどのような空

向かっての具体案が出された。

翌年二〇〇三年の九月

座談会が繰り返し行われ、めざす県議、市議、有識者らとともに、 べき姿が明確になってきた。

### 夢に向け一歩ずつ前進

文化を体験できる場に」(北山直 長)、「松川べりを、富山の歴史や 大切」(朝日重剛·朝日印刷(株)会 所長)、「四季折々の催し物と食が (今井清隆・元富山土木センター 長)、「松川の水位の安定化が急務」 兀県土木部長、林建設工業(株)社 滞在型の観光地に!」(嶋倉幸夫・ 川、いたち川、富岩運河をつなぎ、 (二〇〇二年十一月号)では、「松 の都とやま《のロマンが広がる」 を記念して行われた座談会「゙水 ?・北山ナーセリー社長)と、夢に グッドラック創刊二十五周年

> 記念して、「リバ ム」が企画され、これに先立って県 市議との座談会も行われた。 川と街づくり国際フォーラ フェスタinと

と、夢が広がった。 を掘り下げて線上の公園として たち川、富岩運河の一体化した整 つなぎ、河川回廊を誕生させて 田真人氏)との意見が多く、 備を」(杉本正氏、吉田良三氏、横 県議との座談会では、「松川、 1/2

意見が飛び出した。 させては」(犬島肇氏)と、 なるような仕掛けづくりを」(岡田 空間に」(中川忠昭氏)、「水をきれ 一郎氏)、「船運を新しい形で復活 こ(佐藤英逸氏)、「人が歩きたく にするには、下水道の整備が急 また、「川べりを生活と密接な

市議七名との座談会で いたち川、 富岩運河を

# の可能性を再確認

あればよい」との声も多く聞かれ 民からは「こんなイベントが毎年 川べりは華やかな雰囲気に…。 市 画展」などに多くの人々が訪れ、 彩なイベントを開催。「水上リバー 「リバーフェスタinとやま」で 松川周辺で5日間にわたり多 ド」や「ライブ」 」、「川の街絵

ラム」に出席するため来日してまた「川と街づくり国際フォ らしい!」と絶賛。松川べりが、 アントニオに負けないくらい素晴 たリチャード・ハード氏も、「サン ントニオのリバー -ウォー · ク 同 [ ()

> 作って、 叶うでしょう」と力強く語り、「水 全部一緒になった時に、この夢は 対話を始め、一つ一つのパズルが ることが必要。それについて皆で を秘めていることが実証され な一歩が踏み出された。 の都・富山」実現に向けて、 ムの中で「まずマスター さらに、ハード氏はシンポ とても大きな魅力と、 川に関する基本構想を作 - プランを ジッウ

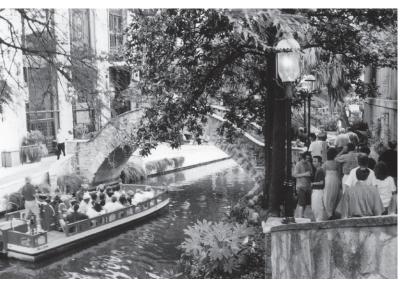
#### アントニオ 視察団が次 A ح

産として生かしきっていない ニオを訪問。八島健三会頭は、「富 商工会議所の視察団がサンアント 産として生かしきっていないといい。しかし、富山は川を市民の財 山とサンアントニオは共通点が多 開催直後の二〇〇三年十月、富山 そして、この「リバ ーフェ スタ」

> あった西側のお堀を復活させ、国 体案を述べた。 を作っていくことが大切」と、 園を拠点に松川のリバーウォー 際会議場とつなぐと共に、城址公 が決定的に違う」と語り、「昔 ク

米。サンアントニオの観光客の多 内で富山県議、富山市議をはじめ 「サンアントニオのリバーウォー 察が行われた。 ものは何かを学ぼうと、熱心な視 さに驚きながら、松川に足りない とする総勢十九名の視察団 がっている」とその魅力を語った。 クは、降りてみると別世界が広 さらに十一月二十日、 また、濱谷元一郎専務理事は、 が渡 の案

た」(中 さを目の当たりにし、今後の富 での取り組みに向け、意を強くし 県議からは、「水辺空間の素晴ら 民にも実際に見てほし 川忠昭氏)、「多くの県民、



のように美しい石で作られたアーチ型の歩道橋と遊覧船

逸氏)との熱 化していく必要 点を決めて、具体 るところから焦 備を始めるべき」 げ、モデル的な整 協議会を立ち上 がある」(佐藤英 山真人氏)、「でき (五十嵐務氏·横 正氏)、「早急に民 を巻き込んだ 77

#### 姿が 目指すべき 見えてきた

利用しながら、 も「富山の四季を 市議から

> された。 「滞在型観光の拠点という意味か辺を生かしては」(鋪田博紀氏)、 (村上和久氏)との活発な意見が出 川べりを充実できないか」

議会議長に視察報告書を提 弘行市議会議員は十二月一日、市 な声も聞かれ、視察団団長の松本 整備が必要」(堀田松一氏)と様々 氏)、「遊び心を川べりに生かした 協賛を得ることが大切」(中村均 「夢の具体化には市民の賛同、

た。まず手のつけられるところか 『壮大な夢』だと驚い なります」(松本氏) 魅力を作り出す都市改造の機会と らやっていけば、新しい富山市の ら、実現の可能性のあるところか 「建設部の方にも配りますと、 ておられまし

県河川課長)からは、「将来の大計 同行した今井清隆氏(元 Good Luck 2007.12

すべき松川の姿が を向上させてはどうか。一つ目は、 になってきた。 たち川との合流点に閘門や堰を 西側のお堀を再現し松川 史的なものの整備。三つ目 具体的な提案があり、 の乗り入れを可能にするこ 水位を安定させる。 少しずつ明確 二つ目 から

### 成功の秘密に学ぶ

生雅章氏(現富山県土木部長)が、 澤合敏博氏(元富山県出納長)、 川と同じだ!」と感動。 ンアントニオを視察。橋の上か 二〇〇五年七月、 ウォー クを見て、「これは 中村の案内

そして、 その成功の秘密とし 造園技術者でもある埴 て、

(一)地表 次の四 込むことで、 つの レ ベルから五 たオア 点に着目 地上の世界 シス空間を創 した。 メー か ル ら陽 h

> 洪水対策を徹底し、 してい している。 る。 水位を一定

樹木の保護や草花の効果的な植

により、 している 質の高 17 公園環境を

ではない が楽しんだ風流な世界と共通す 「これは回遊式日本庭園の応用 場など、賑わいを創 な空間がたくさん存在する。 沿いにレストラン かと思うくらい、 ました」と、 サンアントニオに実 誰もが楽 平安貴 す しめ 万

### 森市長が市幹部と ンアントニオ

しさと賑わ して今年、 ニオを訪問。「百聞は一見に 市長がついに市幹部とサン でした」と、 いに驚いたという。 二〇〇七年五月 上の美

> た森市長は、具体 いることを明らかにした。 になる」との 地下貯留槽の設置を検討 確信を持 的な整備案と つて帰 大変参考 玉

は、大きな貯留槽を作るしかな 水質は格段に良くなります。 これがきちっとできれ らで、どういう手法が り、ずっと下流に行っ の雨水をどう処理するか調査を始 九年度から、合流式下 汚物の混入を防ぐため これを松川の底に作 事業費は て出すこと あるのか。 水道 0

の素晴らしさを語り、

発想になってく それをやれば、 になってくるのではない、ホテルなどを作ろうとい 河畔にカフ I で う

光客が安心して移動できる街づく 中心部の路面電車を環状化 三年後の二十 一年度には、 市 内

> を進めたいと語る森市長。 っている。 いくことは、 都心の河川空間(松川一帯) ーフロントとして整備 大変重要な意味を その

急務となります。 着駅が金沢ということを考える わくわくするような施策が必要で いきたいですね」(森市長) 富山ならではの魅力づくり 八口減少化時代に入った上、 松川の可能性を最大限に生 魅力ある街づくりを進め さらに、 市民の皆さんが が

の研究を重ねながら、 アメリカの水都・サンアントニ なってきた松川のグランド さらなる挑戦は続く に発信される日を夢見 魅力を持つ街・富山と 辺を活かしたオ 次第に明



アメリカのベニスを目指し、成功したサンアントニオのリバー